

< 参考 >

「いい夫婦の日」について

私たち「いい夫婦の日」をすすめる会では、日本中のご夫婦にいっそう素敵な関係を築いていただきたいという気持ちから、11月22日を「いい夫婦の日」といたしました。

私たちは、「いい夫婦の日」を、日頃は照れくさくてなかなか言えない「ありがとう」と「愛してる」をいろんなカタチで伝えあう、そんな1日にしていただきたいと考えています。

「いい夫婦の日」をすすめる会とは

1985年に政府が「ゆとりの創造月間」を11月に制定。

1988年には、財団法人余暇開発センターが夫婦で余暇を楽しむライフスタイルを提唱しました。

それをきっかけに新しく制定されたのが「いい夫婦の日」です。

その日付については、「いい夫婦」との語呂合わせで11月22日に決定したといわれています。

同センターによる普及のためのキャンペーンは1988年より実施。

その後、(社)日本ボディファッション協会の塚本能交代表が「いい夫婦の日」の趣旨に賛同され、ファッション・アパレル関連業界による「いい夫婦の日」をすすめる会(7団体・2,200社)が発足しました。

1998年には新キャンペーンがスタート。「いい夫婦の日」は夫婦を単位とした新しいライフスタイルの提案とモラルの啓発活動と併せて、新しいマーケット・モチベーションの創出を目的として広がっています。

現在は、構成団体・協賛企業・協力企業が同じプログラムのもとに共同の販促プロモーション活動を行い、産業界にとってのビジネス拡大にも寄与しています。

「ダズンローズ」の由来

「ダズンローズ」は、ヨーロッパに伝わる古い風習です。男性は結婚の申し込みに行く際、12本のバラをブーケにして女性に捧げました。12本のバラはそれぞれ、感謝・誠実・幸福・信頼・希望・愛情・情熱・真実・尊敬・栄光・努力・永遠という意味があり、男性はこのすべてを誓いプロポーズしたそうです。

そして、女性はその12本の中から一番贈りたい一輪を選び、愛を受け入れた証として男性の胸元に刺しプロポーズの返事をしたとか。

このロマンチックな行為「ダズンローズ」は、結婚式で見られるブーケ、ブートニアの起源にもなっています。

こんなに素敵な風習を持つバラこそ、夫婦がお互いに気持ちを贈るのに最もふさわしい花と言えるのではないのでしょうか。

キャンペーンロゴマークについて

複数のハートを組み合わせることで、キャンペーンのモチーフ「バラ」を印象的に表しています。また、2つのバラが愛しあう夫婦を表現し、気持ちをバラに込めて贈りあうイメージを喚起させるデザインとしています。



「いい夫婦の日」歴史年表

- 1985年 政府が経済対策会議で、11月を「ゆとりの創造月間」として提唱
- 1988年 財団法人余暇開発センター 現(財)日本生産性本部 が、夫婦で余暇を楽しむゆとりあるライフスタイルを提案、11月22日を「いい夫婦の日」と提唱
「いい夫婦の日」俳句コンクールを実施、「トークプラザ ゆとり夫婦学」開催、「いい夫婦の日」キャンペーンに関する調査実施
- 1989年 「シテイトーク ゆとり時代の悠々夫婦」開催、「いい夫婦の日」キャンペーンに関する調査
- 1990年 「悠々夫婦 男の意見・女の意見」パネルディスカッションとコンサート開催、「いい夫婦の日」キャンペーンに関する調査
- 1991年 「悠々夫婦 俳句で遊ぶ」、「いい夫婦の日」キャンペーンに関する調査
- 1992年 悠々川柳「亭主の休日・女房の休日」、「夫婦のゆとりと余暇」に関する意識調査
- 1993年 シンポジウム「家族(いえぞく)の時代」、「夫婦のゆとりと余暇」に関する意識調査
- 1994年 集中セミナー「ひとはなぜ自然を求めるのか 共生の回路としての余暇」開催、「現代人のゆとり状況と余暇・自然観」に関する調査
- 1995年 国連提唱「国際家族年」
- 1998年 「いい夫婦の日」をすすめる会事務局を設立、「いい夫婦の日」をすすめる会による第1回キャンペーン
- 1999年 第1回『パートナー・オブ・ザ・イヤー』実施
- 2000年 第2回『パートナー・オブ・ザ・イヤー2000』選出
- 2001年 第3回『パートナー・オブ・ザ・イヤー2001』選出、「いい夫婦」のクオリティ オブ ライフ セミナー開催
- 2002年 第4回『パートナー・オブ・ザ・イヤー2002』選出、「いい夫婦の日」フェア開催
- 2003年 第5回『パートナー・オブ・ザ・イヤー2003』選出、「いい夫婦 ジャズパーティ」開催
- 2004年 第6回『パートナー・オブ・ザ・イヤー2004』選出、「パートナー・デザイン・アワード2004」選出
- 2005年 第7回『パートナー・オブ・ザ・イヤー2005』選出、「パートナー・デザイン・アワード2005」選出、「いい夫婦 de キッチン」(夫婦料理教室)
「いい夫婦 de 試写会」「いい夫婦 de 観劇」開催
- 2006年 第8回『パートナー・オブ・ザ・イヤー2006』選出、第1回『いい夫婦 川柳コンテスト2006』選出、「いい夫婦 de キッチン」(夫婦料理教室)開催
- 2007年 第9回『パートナー・オブ・ザ・イヤー2007』選出、第2回『いい夫婦 川柳コンテスト2007』選出、「いい夫婦 de キッチン」(夫婦料理教室)、
「夫婦ボウリング大会」(全国207センター、2879組のご夫婦参加)、「いい夫婦の日特別試写会」開催
- 2008年 第10回『パートナー・オブ・ザ・イヤー2008』選出、第3回『いい夫婦 川柳コンテスト2008』選出、「いい夫婦 de キッチン」(夫婦料理教室)、
「夫婦ボウリング大会」(全国276センター、3840組7680名のご夫婦参加)、「いい夫婦 de 落語」開催

以上